

花の中を 翠雲公園（三木田）

No. 7

平成18年8月1日発行

6月定例会

定例会の審議と結果 2

常任委員会の審査報告 4

一般質問 6

請願・陳情、あとがき 12



市議会
だより

きたあきた

(仮)市民病院実施設計費を可決

用地買収、造成含め3億円余

市立合川高校統合を決議

6月定例議会は13日から23日まで開催。今定例会には多くの傍聴者が訪れ、議会議員の言動に終始うなずき、特に市民病院の行方については強い関心を示していた。17年度補正予算に係る承認案件をはじめ、18年度一般会計及び特別会計の補正予算、条例、報告及び同意案件など48議案が審議された。一般会計は一部反対があり起立多数で原案可決。支所設置条例と国土利用計画に反対賛成討論があり賛成多数で可決。病院事業特別会計は反対討論があり賛成多数で可決。市立合川高校統合問題は決議案が提出され賛否討論のすえ可決された。不在となっていた監査委員は無記名投票の結果賛成多数で同意された。上程された承認案件及び議案はすべて原案通り可決された。



賛成多数で可決された病院事業特別会計

一般会計補正予算は5億2,944万2千円を追加し、歳入歳出の総額は211億4,931千円となる。主なものは病院費1億7,545万5千円、総務管理費1億1,642万6千円、道路橋りょう費5,088万7千円、清掃費4,518万5千円、農業費3,552万8千円などである。

特別会計補正予算は国民健康保険8,086万6千円追加し、総額36億5,746万4千円、国保合川診療所1,299万8千円追加し総額3億9,111万7千円、老人保健1,774万1千円追加し総額53億9,548万8千円、介護保険8,281千円追加し総額35億5,285万6千円となる。

一般会計補正予算案への質疑が集中し、反対賛成それぞれの討論が繰り広げられ、特に非常勤職員報酬に係る学校教育、保育園関係の勤務には実態の改善が必要と少数意見の報告もあるなど、活発な議論が展開されたが、起立採決

の結果、賛成多数で可決となった。

仮称・北秋田市民病院議論高まる

仮称・北秋田市民病院補正予算案。先の議会で基本設計ほか1億4,155万5千円計上。このたび病院事業会計に実施設計委託費1億3,424万6千円、用地造成工事費6,436万5千円、用地取得費1億1,400万円の合計3億1,126万1千円が建設改良費として計上された。大綱質疑も不確定要素が大きい、拙速すぎるなどの慎重を含む意見が出され、加えて少数意見報告書が出された。

18年度一般会計補正第1号については投資及び出資金に計上されている金額が北秋田市病院事業会計に補正予算とされている。公営企業会計でも問題があると考えられるなど、事務処理に関する意見があった。また病院事業会計では、用地取得から造成そして実施設計まで計上されているが、これら前提となる内容について審議された。病院用地の取得については土地買収単価について地価の比較等の少

数意見がだされ、採決の結果賛成多数で可決された。

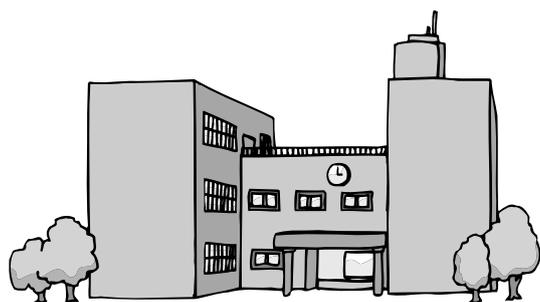
鷹巣支所廃止は賛成多数

条例関係では、「支所設置条例」と「国保税条例」の改正案が審議の中心。市行政機構改革に係る「鷹巣支所の廃止」について「合併1年、支障はないか」「サービスの低下はないか」との追求に「廃止によるサービスの低下はない、実質的に事務効果が良くなる。他の支所も早期に見直したい」と示し討論のすえ賛成多数で可決された。

合川高校の編入求め4校統合を決議

秋田県教育委員会から早期の対応を迫られていた鷹巣農林・鷹巣・米内沢の県立3高校統合に市立合川高校の編入を求める内容。昨年度の議会で統合問題は18年度新議会になってから議論し結論を出す予定だった。県教委より7月20日まで地元の見解を聞き集約を、とし、議長より調査特別委員会設置を要望されていたが、議会運営委員会の意見

から設置せず進める方針となった。最終日、県の県立3校の統合計画に編入を求める決議案が出された。6人の白熱した討論が繰り広げられ、「少子高齢社会だからこそ過疎化が進む地域の活力や街づくりに人の力が必要」「子どもたちの教育、意識、少人数学級で子供を育てる教育」「親のリストラ等で交通費を払えず学校をあきらめざるをえないケース増」「教育を問い直すべき」などの意見があつたが、討論のすえ「生徒数減少」「学校経営の財政難」「教育環境の充実」を理由とする賛成意見が理解され賛成18、反対6、欠席1で可決された。



今定例会で審議された主な内容

件名	審査結果	件名	審査結果
専決処分 平成17年度補正予算（一般会計）	全会一致 承認	北秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
専決処分 平成17年度補正予算（簡易水道特別会計）	全会一致 承認	北秋田市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の制定について	全会一致 原案可決
専決処分 平成17年度補正予算（下水道事業特別会計）	全会一致 承認	北秋田市農業委員会の選任による委員の団体推薦に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
専決処分 平成18年度補正予算（国民健康保険合川診療所特別会計）	全会一致 承認	北秋田市農村公園条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
専決処分 平成18年度補正予算（老人保健特別会計）	全会一致 承認	財産の取得について（統合病院 仮称北秋田市市民病院用地）	起立多数 原案可決
専決処分 平成18年度補正予算（宅地造成事業特別会計）	全会一致 承認	北秋田市過疎地域自立促進計画の変更について	起立多数 原案可決
専決処分 北秋田市市税条例の一部を改正する条例の制定について	起立多数 承認	辺地に係る公共的施設総合整備計画の変更について	全会一致 原案可決
専決処分 北秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 承認	北秋田市国土利用計画の策定について	起立多数 原案可決
専決処分 市立保育園を市外在住の保育に欠ける児童に使用させることについて	全会一致 承認	字の区域の変更について（浦田地区）	全会一致 原案可決
平成18年度北秋田市一般会計補正予算（第1号）	起立多数 原案可決	秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について	全会一致 原案可決
平成18年度北秋田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決	秋田県市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について	全会一致 原案可決
平成18年度北秋田市国民健康保険合川診療所特別会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致 同意
平成18年度北秋田市老人保健特別会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決	北秋田市内県立高等学校3校の統合へ市立合川高等学校の編入を求める決議提出について	起立多数 原案可決
平成18年度北秋田市介護保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決	監査委員の選任について	無記名投票（賛18：反5） 同意
平成18年度北秋田市病院事業会計補正予算（第1号）	起立多数 原案可決	請願2件・陳情6件・意見書提出4件	12ページ参照
北秋田市支所等設置条例の一部を改正する条例の制定について	起立多数 原案可決		

総務企画

機構改革で

鷹巣支所廃止へ

今回の条例改正は、機構改革推進プログラム（H18～H22年度）の一環であり特に鷹巣支所を廃止し、本所にその機能を持たせるため、市民生活課、産業課、建設課を本所の市民生活部、産業部、建設部に編入し、内陸線再生支援室、中心市街地活性化対策室を新設する説明を受け、委員から、1階の支所には多くの

市民が来庁しているが鷹巣支所を削ることにより市民へのサービス低下を招かないの不安視する意見が出されました。

当局では、本所が支所機能を併せ持つが、ワンストップサービスが出来る各課の配置や窓口の1階への設置は変わりなく進めていくことで、住民サービスには混乱を来たず

ことはないと答弁。これを受けて委員会として、住民サービスの低下につながるよう配慮すべき」という意見を付して多数可決となりました。

阿仁地域携帯電話不感地帯解消

観光拠点の一つである担当地域をカバー出来る施設を建設するために1億円の予算を計上。その内企業が1250万円、県が875万円を負担し、残りが市の持出し（内起債が7000万円）となる事業である説明を受け、委員か

ら完成後の財産、管理運営、電波の範囲等の質疑があり、当局では財産は市に帰属、管理は企業（KDDI、ドコモ）が行う。電波は直線で3キロは届くようであるが建設場所は選定中でありますとの説明。

北秋田市国土利用計画策定

全国計画及び秋田県計画を基本とし、地方自治法第2条の規定に基づき北秋田市総合計画に即して策定したもので、平成27年までの計画であり、必要に応じて見直すものであ

ると説明を受けて委員から、各種団体や有識者との協議、意見聴取はあったのか、また北秋田市が見えてくる計画であります。が財政的な計画についての質疑。
当局は、公聴会を開催し農、工、商の代表者から意見を聴取している。また、国土利用計画は財政は伴わないとの答弁があり、賛成多数で可決となりました。

（佐藤文信委員長）

生活環境

市民病院用地を取得

市民病院関連議案の審査に集中されました。

- 実施設計はいつからか。
- 用地取得費が高すぎでは。
- 用地造成の内容と費用は今予算ですべてか。

実施設計は基本設計終了後の10月から入り、年度内の完成を目指す。

1億1400万円で県から買い入れる。県が用地買収し

た時、1平方メートル当たり2千円以上で、1120円は安くしてもらった。

造成は立木の伐採、抜根掘りなどで、降雪前には終わる。今回は粗造成で、造成費はまだまだかかります。

特殊な機械

導入するのか

がん治療に「ファス」の導

入については、放射線の専門医がいらないという医師確保の面からもファスにこだわっているが、まだ決定してないが、現在日本に7台しかなく、保険も適用されない機器であり、委員会では1回の治療に75万円もかかり、しかも保険が効かない特殊な機械を導入するのは、市民病院にそぐわないのでは。

また立派な病院を建てれば医師が来るというが、医師の確保は難しい面もあるのでは。

鷹巣外来センターの開設は

医療整備基本構想に設置をうたっている鷹巣外来センターはどこでやるのか。あるいは本当にやるのか。厚生連はやりたくないと言っている。現時点では開設の見通しが立っていないとのこと。

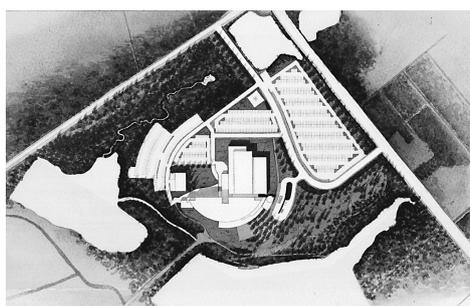
市民病院の設置条例は

出資と会計処理は

今現在ある阿仁病院を対象にしたものであり、市民病院は建築業者との契約行為が済

み次第すみやかに条例改正を行い、出資と会計は地方公営法に基づき処理している。

（佐藤重光委員長）



仮称市民病院周辺の全体計画

福祉教育

森中のスクールバス 一時従前どおりに

この度の6月定例議会です。託された案件は、議案が3件、承認専決2件、請願1件でありました。

その内、18年度補正予算は、賛成多数で原案可決、他4件は全会一致をもって原案可決、請願は採択となりました。

18年度補正予算の中で質疑となったものは、森吉中学校のスクールバス問題でした。

これまでスクールバス3台

で地区を回る登下校時の通学状況であったが、他校と合わせ地域的な状況をふまえて内陸線や一般定期バス等の利用を図る通学を計画し、保護者

等の理解と協力を得て通学出来るようにしたいということでしたが、再々に渡る説明会の末、教育委員会側の短期間における説明と合わせ通学路

の安全、安心から見て調査不足もあり、理解してもらえないことから再度従前の方法に切り替えた通学の予算計上に

対する質疑がありました。中には、事前執行ではないかという意見もありましたが、4月に入っていた点と合わせ入学式も近づいていた事から急遽従前に切り替える事にしたとの事です。

保育園は8時間で
もう1点は臨時職員の勤務時間について質疑がありまし

た。臨時職員についてはこれまで正職員同様8時間勤務でありましたが、4月からは6時間勤務となっております。

特に民生費に関係する保育園に勤務する方々の時間は大丈夫か、保育園という点から考えると6時間では合わないのではないかと質疑がありました。

今は基本的には6時間です。8時間勤務にして2時間については従前の勤務時間と同様に時間外割増し分はみないで頑張ってもらっているということでした。

入っていないため総事業費が減額になった」との説明がされ、また、担当職員からも詳しい内容説明があり、その経緯について委員会としては問題がないとの結論に至った。

産業建設

大綱質疑での 市長答弁に決着

承認第1号 平成17年度北秋田市一般会計補正予算では、商工振興費、商工会合同年末年始大売出し補助金 120万9千円の減額」について、

その内容を詳細に審査した。委員会における説明内容と大綱質疑における市長答弁との整合性について、委員から指摘があり、市長に委員会への出席を求め説明を受けた。

「大綱質疑において、議員からの質問に対して答弁するべき職員が議場にいないため、自ら知っている範囲で答弁にあたった。交換しなかった品品について返品できる物は返したが、高額の商品については返品できなかったため、理事の方々が購入し、市内の学校等に寄付をしている。これらに関わる経費は事業実績に

無駄な予算の使い方に 意見を付す

18年度一般会計補正予算に關しては、委員長報告の中で、当初予算に公民館の下水道接続の予算を計上していながら、今回の補正に浄化槽清掃の予算が計上されているのは無駄な予算の使い方、との意見を

付すことにした。また陳情請願については、「阿仁・森吉」スキー場の継続と早期営業決定に関する陳情書については、市長が西武から「陳情はもう少し控えてもらいたい」と言われており、市長が新しい情報をキャッチしながら、対応を考えたいというのであれば、継続審査をもって状況を見ながら臨機応変な審査を9月議会まで継続することにした。

(武藤忠孝委員長)



合同年末年始大売出しの抽せん会



(中嶋力蔵委員長)

勤務時間の影響が大きい保育園

一般質問

活かそう市民の声 市政を問う



多くの傍聴者が訪れた一般質問

一般質問は、6月15・16日の2日間行われ、11名の議員が市長に対して限られた時間の中で、様々な問題についてたどしました。

* 掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。

問 仮称市民病院は公設民営で、指定管理者制度で運営したいと言ってきたが、建設前の計画の段階で、各種の不確定要素も多いのに、指定管理者を決定して実行できる法的根拠を示された。この計画では人口4万名が前提だが、20年後は28000名の予測である。PETの検診による癌発見率は極めて低い、治療の機器はどうか、外来センターはどうか、北秋中央病院の土地を含めどうなるか、新病院の外来患者数は何名を予定しているか。

答 中央病院の216ベッドを組み入れて建設するからです。人口は数字上のこ



千葉文吉 議員
(千光会)

回答 質問

人口の計画と予測の差は
数字のこと、ならない努力

とで、そうならないようにするのが行政の努力である。PETを入れるとは言わない。癌治療機器ではFUSで超音波を利用した機器と、

臨時の勤務大幅変更

業務に支障ない様に

問 鷹巣福祉公社の指定管理者制度への移行で、なぜあのような問題が発生したか、他の施設では管理職2名が、指定管理者制度に移行するので市との雇用は3月末までと説明し、休暇で不在の職員に伝えるように言って帰っている。生活に関する重大問題がこんな対応でよいのか。

答 補助機具センターはこれまで黒字で経営されてきた。それを施設補修に回したいと市の収入にと言ったが出来なかった。他の施設は全部委託でやっていたので、そんなことはない

聞いている。

問 森吉、阿仁支所の利用はどうか。臨時職員の勤務条件が大幅に変更された、住民サービスに支障はないか、激変緩和策はどうか、災害対策はどうか、モニターテレビの設置はどうか。

答 活用委員会で検討し結論がでているので、機構改革を進めたい。臨時の勤務は6時間にし、業務に支障のないように進めたい。災害は防災カルテを小学校区単位で作る。モニターテレビは光ケーブルの敷設が必要、検討してやりたい。

放射線式のトモセラピーを考えている。価格は5億5千万円位、1回の照射は30分、63万円位、1回で良い場合と20回の時とある。外来センターは未定で21年のスタートまでに考える。中央病院は市の基本構想の中で、どう利用するか決まってから。新病院の外来患者数は450名で進めている。

質問 回答

子ども部を新設しては 十分検討させて頂く



原田 醇一 議員
(公明正大)

問 最近、子どもの肥満、やせ過ぎ、生活習慣病、心筋梗塞、骨粗しょう症など子どもの体が危ない状況である。食育の実施状況は。

答 それぞれの学校で栄養士、養護教員、学担との連携で、正しい食事のあり方とり方を指導しております。問題は朝と夜、食事のこををする親の方が真剣にならなきやと思う。子どもの朝食については、全市を挙げて、全家庭を挙げて、取り組み、早寝、早起き、朝ごはん、これ呼びかけていきたいなと思っています。

問 子ども自身がみずからを守る「CAPプログラム」の導入の考えは。

答 これを指導する専門の資格のある方が非情に忙しく、困難な状況にある。米内沢小学校で一度指導を受けた経緯があります。そういう機会を多くしていきたいと思っています。

問 病院は市民の関心も高く、一刻も早い建設を望んでいます。特に、がんによる死亡者は3人に1人、将来は2人に1人と予想される。がん医療を受けられる病院を望む。

病院建設は市民の望むごとく 完成は21年9月めどに

問 今のところ21年9月をめどにしております。がん医療については、FUSという機械で、レンズを当てて、

問 機構改革推進プログラムが示されたが、少子化も重要問題であり、子どもは未来の宝。「子ども部」を新設しては。

答 あちこち歩くよりは、そこに行ったらすべて分かる、そういう部があれば確かに望ましい。十分検討させていただく。子ども自身に、被害に遭わない力をつけるための地域安全マップ作りをさせてみては。

答 全小学校にハガードマップを作成してある。再点検をして犯罪者の立場から、どこが一番やりやすいのか、というふうなことから、進めてみたい。

質問 回答

住民要望に迅速に対応を 総務課を窓口に対処する



黒澤 芳彦 議員
(新創会)

答 当市と大館市のゴミ袋の値段が3倍も違うことは初めて知りました。7月に新しくゴミ袋をつくるので、業者を募集し、作成上十分検討します。

問 奥森吉の登山道、例えば赤水沢玉川コース等及び遊歩道の整備と改修、大印線の車道の拡幅と交通規制について。

問 大館市でなされているカラスネットに対する補助金制度を導入し、ゴミのカラス被害を防ぐようではないか。

答 十分検討します。ゴミ袋の販売方法、値段にも疑義があります。

問 各自治会の要望等に対応する窓口の一本化と処理の迅速性並びに説明責任を果たし、住民の要望に的確に対処すべきでないか。

地域の精神医療に光を 医師の確保に努めます

問 森吉山におけるトイレのバイオ化も考えるべきではないか。

答 整備するには県単事業で、設置町村が2割負担となり、維持管理も難しい。県に要望してまいりたい。

問 森吉中学校の通学方法の変更には子どもの安全に十分に注意を払われたい。

答 今後也十分調査、検討した後で実施したい。

問 市立合川高校は早急に県立3校の統合計画に編入すべきである。

答 私としても同意見。

問 21年9月に開設する市民病院に、地元で開業している医師との連携、提携は考えられないか。

答 地域医療支援病院として、機能上病診の提携を考え、そういう形の病院にしていく。

問 地域における精神医療対策にもっと光を。

答 医師の確保をいろいろな所においている。

問 総務課で一本化し、迅速に回答をして説明責任を果たします。

問 ゴミの分別方法が変わったのに市民に説明する責任が不十分ではないか。

答 分別に対する説明が不十分であるのは承知しているので、さらに説明責任を果たしていきたい。

問 鷹巣・阿仁地域は業者委託、森吉・合川地域は直営でのゴミ収集方法は変わるのか。

答 今のところ変える予定

質問

回答

障害者自立支援法、親亡き後は

あるべき姿を見つめ直す



議員 小塚光子
(千光会)

問 人口減に少子化、高齢化率がダントツの中、共に暮らせる下地づくりが必要、目の不自由な人や車いすの方の移動支援、生活体験や緊急宿泊、相談の包括した拠点急務。障害者程度区分判定も不安。フードセンター、手にする賃金は月額平均2万円が制度改正で千円〜5千円。授産施設利用後や就労支援の受け皿は未整備での法律施行、不安が募る。地域生活支援事業は市の理念と責務として法定化。対策は。

答 各関係団体と詰めるから、障害者計画を早めに策定。意見を賜りたい。自己負担発生は国の運用、

答 市としても心配。今の病院を生かして頂きたい。子育て支援。子どもをとりまく社会環境や用水路等の危険箇所、人間不信に陥る現状は出生率にも拍車。子育て拠点の整備は。

問 特別支援教育は、福祉と教育の連携が大切。現状と方針は。

答 議会が終わったら早急に計画を立てたい。お互いに遠慮が。連携できる部分から始める。

問 理解を賜りながら進めたい。地域精神医療と鷹巣病院について。多くの施設認知症、うつ、自殺。いま医師確保困難で米内沢病院はベット休床。一筆一筆医療充実の願いを込めた2万筆越える市民の署名は。

情報非公開と病院計画の疑問

全部公開する

問 情報公開条例は、地方自治法に基づき、開かれた市政参加を実現するもの。全部公開すべきでは。政府は新たな歳出削減を出した。病院財政は赤字になる、指定管理から負担金あり」と市民へ説明、議会でも断言。厚生連は本当に市に負担金を払うのか。地域支援病院としての運営形態と病診分離の推進機能を厚生連はやるのか。病院建設委員会は、なぜ非公開。審査決定する委員会になぜ議

答 答申受けすっきり。貰ってない人どうぞあげます。厚生連から負担金、減価償却費は当然戴くつもりだがそこまでいいない。そこまで話はまだ。家庭内のことと同じ、病院問題も。検討中が筒抜けに公開されると混乱するから。市民代表の議員から参考意見を聞くため。議決するものではない。会長でなく委員長である。

質問

回答

流雪溝の整備は

計画的に整備する



議員 松田光朗
(無党派)

問 舗装及び改良等は、毎年計画的に、旧町時代から進んでおりますが、流雪溝は、遅々として進んでいない。昨年の豪雪は、家屋の倒壊等、被害が多発し、莫大な損失が出ており、修復するにも、個人では大変な負担になり、いまだ修復が追いつかない状況である。特に阿仁、森吉地区は、被害が大きい。地区住民は、老人世帯が多く排雪が困難なことと市の対応も遅く被害が大きくなった。流雪溝が整備されている地区は被害が少なかった。阿仁地区は、比立内、阿仁中心部、森吉地区は、松山町、寺町、病院通、学校通、等狭隘で

答 現在流雪溝整備は、森吉地区4カ所、阿仁地区20カ所整備されている。金がかかるが、融雪という方法も考えられる。長期的な計画になるが、今後はこうなるということを示したい。

問 流雪溝は、高齢者の要望が強い。老人世帯では、指定排雪所まで運べない。老人対策は。

答 弱い老人の方々に余り負担にならない方法を考えたい。建設協会等と意見交換し良策を考えたい。国、県補助や事業枠も狭まっております、三位一体が進むと限られた財源での計画になる。BCクラスでも十分仕事やっています。地域活性化には大事なことなので、流雪溝等は、継続的な計画を建てたい。

問 森吉地区市道、新町裏町線は、米小の通学路のほか、火災時には重要な市道です。国道105号米内沢橋の下を通過しており、軽普通自動車の通行もままにならぬ。注意札もなく、接触事故が続発している。火災発生時は、消防自動車

答 橋桁の下が1m90しかなく、救急車、消防車は通れない。迂回路を通すよう建設省と折衝したい。

市道・新町裏町線の改良は

建設省と折衝する

問 森吉地区市道、新町裏町線は、米小の通学路のほか、火災時には重要な市道です。国道105号米内沢橋の下を通過しており、軽普通自動車の通行もままにならぬ。注意札もなく、接触事故が続発している。火災発生時は、消防自動車

答 橋桁の下が1m90しかなく、救急車、消防車は通れない。迂回路を通すよう建設省と折衝したい。

答 橋桁の下が1m90しかなく、救急車、消防車は通れない。迂回路を通すよう建設省と折衝したい。

質問 病院計画に未決定多し
回答 実施設計までには決定



板垣 淳 議員
(共産党議員団)

問 鷹巣病院について。精神医療を守る立場から、これまで医師派遣を行ってきた医療法人久幸会に対して、医師派遣を続けるよう要請に行くべき。

答 行かない。久幸会は鷹巣あけぼの町にクリニックを開設するので患者さんはそこで診てもらえる。

問 久幸会の理事長は「ケアタウンは久幸会が運営する」。米内沢病院は閉院になる。「このことは岸部市長も賛成している」と公言している。この内容が事実かどうか。

答 「久幸会がケアタウンをやるように国県から言われている」という理事長の話は聞いている。

問 米内沢病院について。医師不足が深刻。病院責任者としてどうするのか。

答 麻酔科医、内科医が増え、整形も週3日派遣されている。今後増える予定だし今交渉中の人もいる。医師確保が大変な中においてこれだけ確保できている

雇用形態は法律に抵触

問題はあ

問 自治体の職員には職務の公正中立など重い責任と義務があるので正職員でまかなう。例外的に、一時的な行政事務の増大などの場合のみ臨時や非常勤職員を雇ってもよい。これが地方

公務員法の規定である。よって、保育士や給食調理員などを恒常的に非常勤職員としているのは法律違反。その認識があるか。

答 問題があるのはわかっている。

質問 遠距離通学で説明不足
回答 深く反省している



福岡 由巳 議員
(共産党議員団)

ながら理解を得なければならなかったと深く反省している。後期、新たに見直しをしたいと考えている。

問 合川地区小中学校の施設整備

答 合川地域の各小中学校を訪問した。プールや外壁など人命に係わる危険箇所がある。対処の仕方が遅い。

問 今、通年のいいプールができたので、快適な授業もできるのではないかと思っている。

長短含め年次計画を

年度内に一定の方向

問 山村留学センターの運営
夏休みに行く短期留学は関心が高い。事前執行である。当初予算に計上しなかったのが問題。地元の子どもの事業への参加を推進して長期、短期いずれの事業も年度当初から組み込んで年次計画を策定すべきと考えるが。

答 山村留学推進協議会と協議を重ねて年度内に一定

問 合川高校の統廃合の問題

合川高校の統廃合について議会で一度も議論しない中、県教委への統合要望は拙速でなかったか。4校統合では、広大な北秋田市にとっては通学に困難な生徒が出てくるのではないか。

答 通学費用とか時間とかいうのは、次の問題と思う。

質問

集落営農の取りくみは

40力所で説明会を



長崎 克彦 議員
(千光会)

転作大豆に対し生き残りをつけた重要な課題であり、将来の地域農業を守るため、集落営農を組織する必要があると考えるが、その取りくみ状況は、また遊休農地の解消対策については。

問 来年度から始まる「品目横断的経営安定対策」、すなわち全農家を一律に支援してきたこれまでの政策から、担い手を中心に支援する方向へ大きく転換されま

答 今後の農業経営は認定農業者が、集落営農組織の中に入ってこそ救われるものと考え、説明会を40力所で開いて進んでいる。遊休農地の実態は把握できない。

企業誘致の見通しは

1 社と協議中

問 若者の定住のため大きな雇用を支える企業誘致が重要で

答 工業団地はよい環境の中にあるが、高速道と通信網（光ファイバー）の整備が重要と考えている。交渉中の企業が1社ある。具体化するまで、もう少し時間

管内の高卒者の就職状況をみても地元志向が高くなっております。しかしその受け皿となる企業誘致は進んでおりません。人口が減少、過疎に歯止めがかから

が必要である。
問 統合病院の建設に向かつて事業が展開されており

ます。
第一に医師の確保等厚生連から11項目について要望が出されており、そのことについて協議し回答を出しております。まずそのことを明確にすべきと考えているかどうか。

第二に経営に赤字が発生した時は市で負担すると協議しているが、指定管理者として他団体と違っているがその理由は何か。また、協議の中で北秋中央病院の跡地利用だけが問題で、すべてクリアしていると発言しています。発言内容に一貫性がなくその都度変わっているがどうか。

命と健康を守る病院建設は大変重要です。外来センター、精神科、職員の身分等、課題山積しておるのが現状です。明確な答弁を。

答 医師の充足については各大学へ協力を請うている。厚生連も一般の指定管理者と同じ扱い。職員についても出向の形でやる。もう病院は建設するというところで、ゴールに向かっている。

問 平成15年度決算では旧鷹巣町は公債費比率が7・8%、起債制限比率4・9%、財政力指数は、0・36%であったが平成17年度の決算予想ではどうなるか。また起債残高はどれくらいになるか。

答 平成17年度決算の推定では、公債費比率が14・2%、起債制限比率は10・3%、財政力指数0・269%、一般会計起債残高266億円の見込み。新病院建設の財政は平成

質問

平成17年度の指数は

まだ未確定だが推定で



米澤 一 議員
(千光会)

22年度を想定して公債費比率16%台、起債制限比率は11%台、財政も指数は、0・25%台であるが、三位一体改革によって変化する。

問 国保税の減免申請に対し、国税徴収法141条で調査するとあつたが今後もそうなるか。

答 国保税の滞納者は522世帯。資格証明書の発給は31件、短期証明書は402件である。減免申請にかかわる法律は地方税法707条であり、国税徴収法の第141条には訂正しながらお答えします。

出張所の廃止は反対

逐次相談して進める

問 機構改革の中で森吉、阿仁の出張所廃止について合併協議会でどのようになっていたか。

老齢化が進む時、出張所の廃止は、住民が困ること

答 支所の廃止を心配されているが、市の職員がいなくなるということは毛頭考えていない。逐次、相談しながら進められるところは進めていく。工夫してやっていく。



質問 豪雪による雪害対策は

回答 県の補正予算で対応



松橋 隆 議員
(形 成 会)

問 豪雪による雪害で国道105号線阿仁地区のガードレール、フェンスの破損が多く見られる。私の調査ではガードレール延長500mフェンス延長2・5kmが被害にあっており補修が必要と思われる。この対応はどうなっているのか。倒壊家屋、工場が見られる。風が吹けば周囲に残材が散らばり大変危険である。処理処分はだれがいつやるのか。北秋田市の基幹産業である林業。この分野にも今度の雪害が襲いかかっている。道路沿いからみただけである木の倒れ、木の割れ

答 阿仁地区内105号線沿いのガードレール、フェンスの補修については6月県議会に補正予算で対応するよう提出している。今ももう少し待っていただきたい。

問 我が北秋田市でも事件事故が絶対ないといえる世相ではない。少子高齢化の時代にあつてまして子供は地域の宝である。子供への安全安心を考えた時、今一度定期的点検、気配りが必要と思われませんが、北秋田市の教育行政としてどういった対応策を考えておられるのか。

答 スクールガードが各学校単位、地域単位に作られ

される。そういった被害状況を行政はどこまで把握しているのか、また被害木への救済措置は。

倒壊家屋、工場等への対応については所有者の方と相談したりあつせんをしてい

学童の安全生活の対応は

不審者に警告を発する

ている。腕章を小中学校1校平均50枚渡している。学校を通してPTA、保護者、地域の方々に渡してもらつて散歩や、買物に行く時、腕章をはめていただいで、不審者に対してたくさん地域の人が子供を見守っているんだよという警告を発する方法、あるいは市職員全員の車にマグネットシートをつけて警告を発する方法を考えている。

質問 どれ位の農家が救われるのか

回答 担い手を地域ぐるみでとぞえ



花田 隆一 議員
(共産党議員団)

問 担い手経営安定新法が国会で可決され、その中の一つである品目横断的経営安定対策が平成19年より実施されようとしておりますが、この条件をクリアするにはかなりの困難が予想されます。

認定農業者で4ha以上、営農集団で20ha以上が対象であり、それ以外は対象から外されることとなります。農家が選別されることとなり、家族経営的農業の崩壊につながる、国際競争力をつけるにあり、到底たちうち出来るものではありません。

自国の食料は自国で守っていく。日本本来の農業、

問 食料主権とは、すべての国の国民が自分達の食料、農業政策を決定する権利を持つことであり、すべての人が安全で、栄養豊かで、民族固有の食習慣と食文化にふさわしい食料を得る権利であり、家族経営、小さい農家も持続可能なやり方で生産することであり、地産地消ともつながり地域農

答 この制度は農業をやつていく上に、非常に良い制度だと期待しております。鷹巣地区では、認定農業者が145戸、集落営農者が15集団、受託組織が9集団という目標を持っておりま

食料主権を確立すべき

自給率の向上につなげる

みなさんからの 請願・陳情

坊沢公民館の全面改築に対する請願書

提出者 坊沢地区連合自

治会会長 武藤慶信

他4団体

採 択

武力攻撃事態等における「市町村国民保護計画」策定に反対する陳情

提出者 有事立法阻止秋

田県実行委員会代表世話人

風間幸蔵 他2名

不採 択

「阿仁・森吉」スキー場の継続と早期営業決定についての陳情書

提出者 森吉山通年観光

対策協議会会長

北秋田市長 岸部 陞

継続審査

違法伐採問題への対応強化を求める陳情書

提出者 秋田県「森林・

林業・林産業活性化推進

議員連盟連絡協議会」

会長 津谷永光

採 択

住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める陳情

提出者 秋田県労働組合

総連合

議長 日野 充

採 択

「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める」陳情書

提出者 秋田県労農市民

会議議長 石田 寛

採 択

最低保障年金制度の創設を求める陳情

提出者 全日本年金者組

合鷹巣阿仁支部

執行委員長 武石龍一

採 択

農産物価格の保障を軸としすべての農家を対象にした経営安定対策を求める請願書

提出者 農民運動秋田県

連合会 委員長 佐藤長右衛門

不採 択

意見書送付

住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める意見書
社会保障制度充実と最低保障年金制度創設を求める意見書

違法伐採問題への対応強化

を求める意見書

「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な

対策を求める」意見書

提出先

内閣総理大臣 他

関係各機関

人事案件

任期満了に伴う人権擁護委員の推薦と、議会選出の監査委員の選任に伴う同意案件が提案され、それぞれ同意することに決定しました。同意された委員は次のとおりです。

人権擁護委員

畠山 忠明 氏(再任)

脇神内

監査委員

松橋 隆 氏

阿仁幸屋渡

議会運営委員

欠員となっていた議会運営委員には、新創会から松尾秀一氏が選任されました。

あとがき

市議選で26人の新議員が決まり、わが広報公聴特別委員会も新メンバーでスタート。

編集にあたっては、基本的には昨年の形態を踏まえながら、できるだけ読みやすく親しみやすい『議会だより』に心がけたい。

しかしこれが案外難しい。専門的な議会用語、財政用語が出てくる議会にあって、いかにわかりやすいことばでお知らせするかは常に課題。

この点も含め市民と議会が一層身近になるようメンバー一同、努力していきますので、みなさんのご意見・ご感想を願います。

(板垣 淳)



三浦氏繰り上げ当選

このたび、多賀谷氏の辞職にともない、三浦克昭氏(三木田)が6月9日付けで繰り上げ当選されました。三浦氏は、生活環境常任委員会に所属し、北秋田市上小阿仁村病院組合議会議員にも当選しました。



当選した三浦克昭氏

次の定例会は

9月中旬です。

どうぞお気軽に傍聴に来てください。